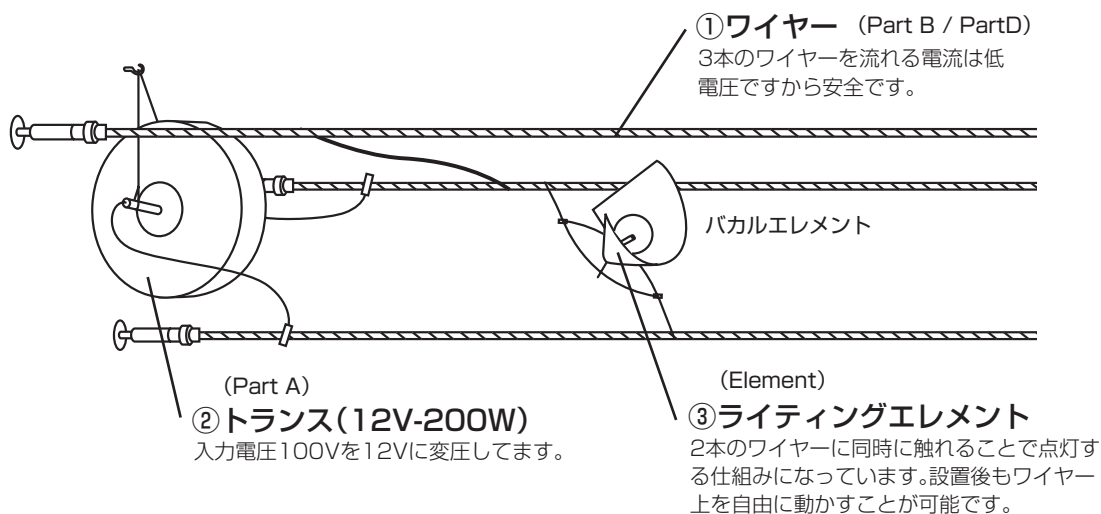
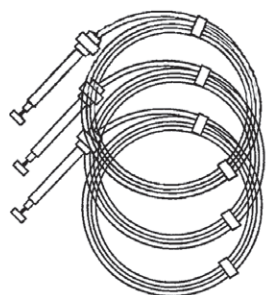
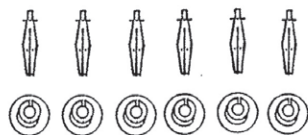
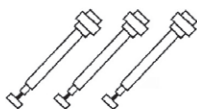
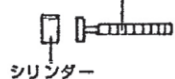
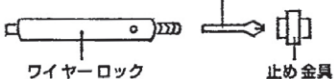
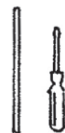
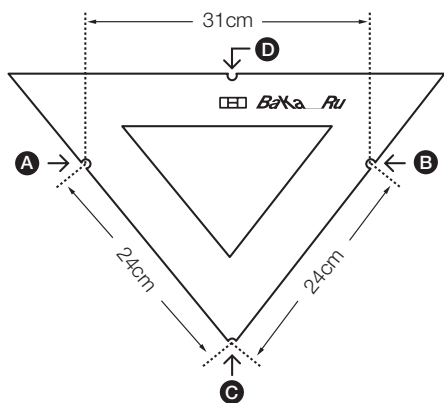
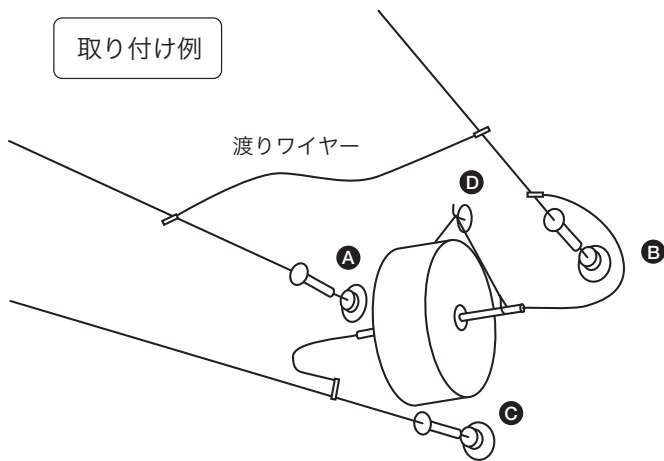
目　次

バカルの取り付け手順

バカルは〈ワイヤー〉〈トランス〉〈ライティングエレメント〉の3つの部分で構成されています。
取り付けは、この順番に組み立てていきます。以下、各部に分け詳しく説明します。

〈注〉金属物（工具、ハサミ等）で、左右のワイヤーに同時に触れないでください。ショートの原因になります。

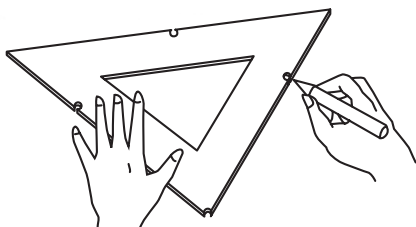
〈注〉金属物のアクセサリーなどをワイヤー及びエレメントに掛けないでください。ショートの原因になります。

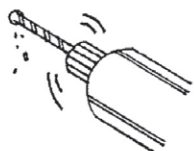
1 ワイヤー

固定金具の取り付け方 セッコウボードには取り付けできません。

BaKaRuは正確な寸法でワイヤーを張らないと取付けが出来ません。
スミ出しスケールを使って3本のワイヤーの位置を必ず正確に張ってください。

A C 間は24㎝
B C 間は24㎝
の間隔で張ることが特に重要です。

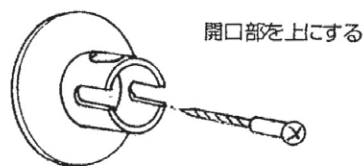
BaKaRu

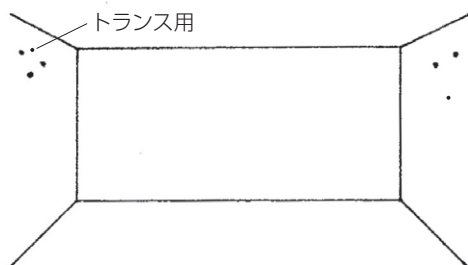
① 壁に印をつける

ワイヤーを張りたい場所にスミ出しスケールで印をつけます。

② ドリルで穴をあける
（印の上に穴をあけます。）

下地に適したネジを選び、ネジの径にあったドリル径で穴をあけてください。

※壁の下地がコンクリートの場合。付属のプラグを使用する場合は、ドリル径8㎜で穴をあけてプラグを奥まで埋め込んでください

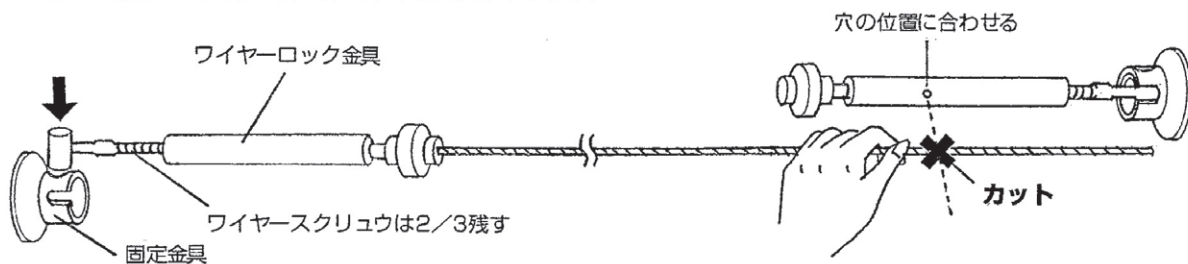
③ 固定金具をネジでとめる
（壁の下地が木の場合は、木ネジのみで固定）

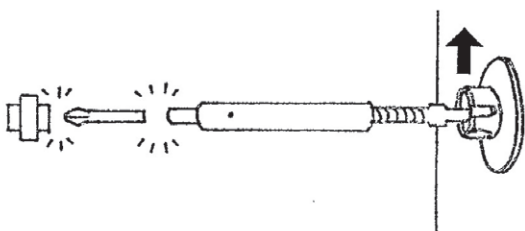
固定金具の開口部を上にし固定させ、ネジで締めます。

④反対側の壁及び天井又は床に固定器具をつける
（壁付トランスの場合）

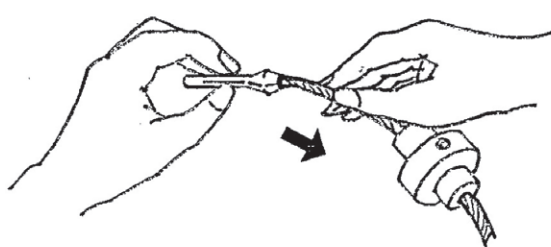
同じ要領で固定金具をつけます。トランス用の穴は、片方の壁のワイヤーとワイヤーの真ん中に穴を開けます。

〈注〉●ワイヤーの強度を保つため、下地のしっかりしたところに必ずネジを水平に打ちこんで下さい。
●プラグ、ネジは壁の状態に適したものを使用して下さい。指定したとおり取付されないと落下の原因になります。

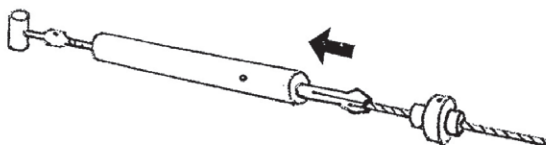
ワイヤーの張り方

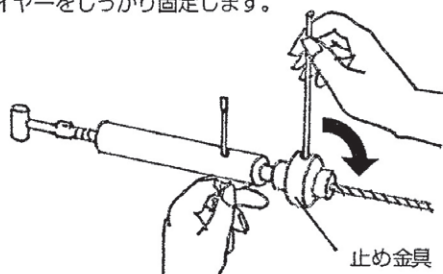
①ワイヤーを適した長さにカットする

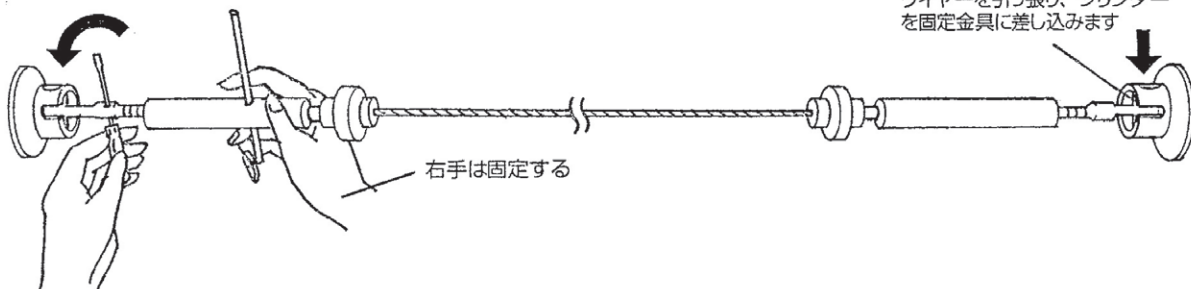
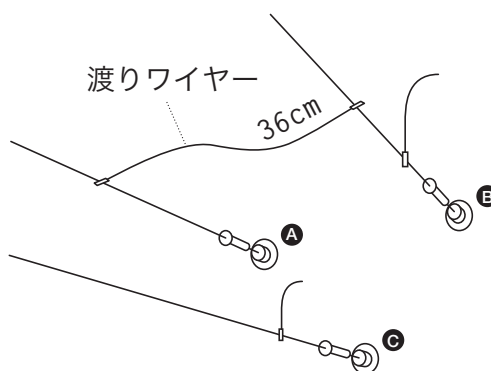
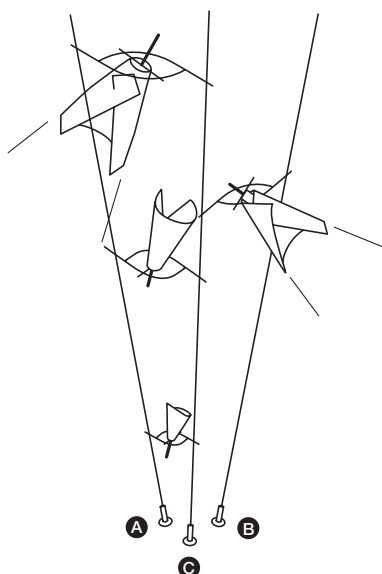
ワイヤーとつながっているワイヤーロック金具にシリンダーを通したワイヤスクリューを入れ、シリンダーを固定金具の穴に上から差し込みます。反対側の固定金具にもシリンダーまでセットされたワイヤーロック金具を穴の上から差し込み、ワイヤーをピンとたるみなく手で引っ張り穴の位置でカットします。

②ワイヤー取付具を分解する(①の右側)

いったん固定金具からワイヤーロック金具、止め金具を外しワイヤークリップを引きだしてください。

③止め金具にワイヤーを通す

はずした止め金具の穴に、カットしたワイヤーを通します。ワイヤークリップにもワイヤーを奥まで差し込みます。

④ワイヤーロックに差し込む

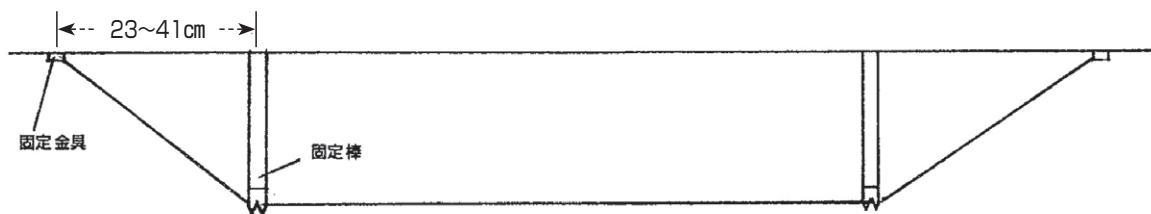
③のものをワイヤーロックに差し込みます

⑤ワイヤーをしっかり固定する。

付属のドライバーをワイヤーロックの穴に通します。スチールピンは止め金具の溝に差し込み、時計回りにまわし、ワイヤーをしっかり固定します。

⑥ワイヤースクリューを回してワイヤーをたるみなく水平に張る。

スチールピンをワイヤーロックの穴に差し込みます。ドライバーはワイヤースクリューの穴に入れ反時計回りに回します。反対側もワイヤースクリューを回し張り具合を調整してください。

(1)壁付けの場合

A C 間は24cm
B C 間は24cm
の間隔で張って下さい。

Bakka Rú

(2)天井付けの場合

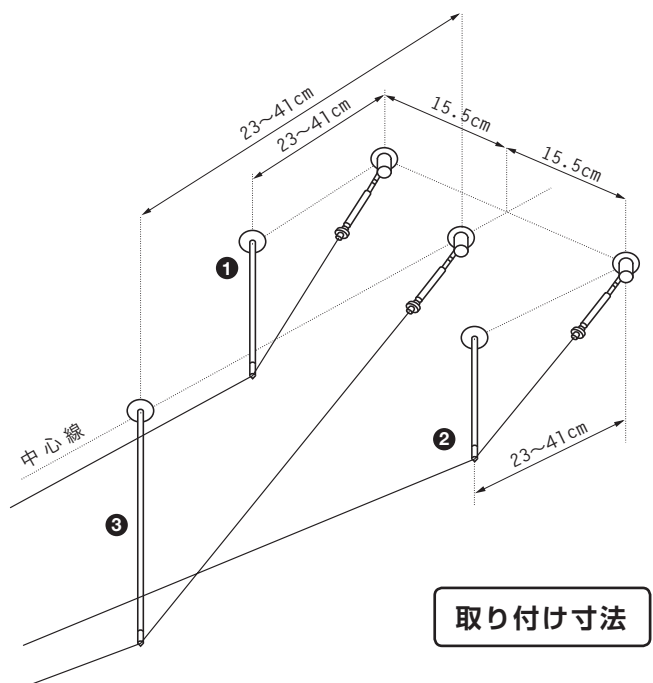
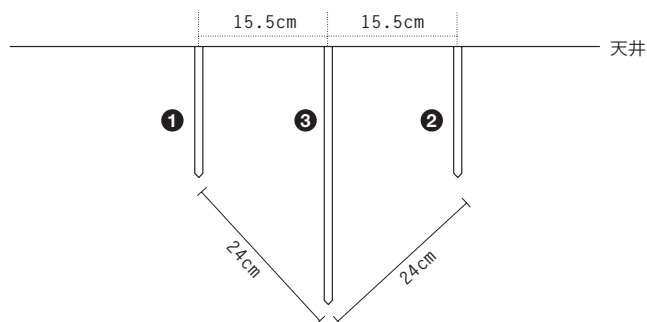
ワイヤーを天井に取り付ける場合は、固定棒、固定金具を使います。

天井固定棒

❶ 全長18.3㎝

❷ 全長18.3㎝

❸ 全長36.8㎝

〈注〉 ●必ず指定の天井固定棒をご使用下さい。寸法は2種類ですので18.3㎝を2本と36.8㎝を1本使用することにより正確な取付寸法が得られます。❶❷の間の間隔は必ず正確に測って下さい。

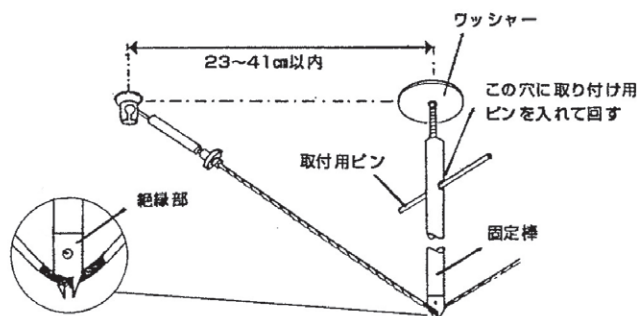
●固定金具の位置は固定棒の取付位置から23~41㎝の間で取付けて下さい。

固定棒の取り付け

①8㎜のドリルで、4㎝以上の深さの穴を天井に対して垂直に開けます。
②開けた穴にプラグを差し込み、ワッシャーを入れ、取付用ピンで固定棒を締めます。
（この時固定棒の先端の切れ込みが、ワイヤーを張る方向と同じになるようにします。同じになっていないとワイヤーを破損する恐れがあります）

〈注〉固定棒はワイヤーを張ったときに外れないようにしっかりと天井に固定し、正確に垂直に取り付けてください。

※ワイヤーの詳しい張り方、取付方は前項を参照してください。

固定金具の取り付け

①固定金具は固定棒から23〜41㎝以内に取り付けます。
②ワイヤーを張る前に、赤い絶縁チューブをワイヤーに通してください。
（この時絶縁チューブが固定棒の先端の切れ込み部分にきちんと収まるようにしてください）

(3)天井⇔床に付ける場合

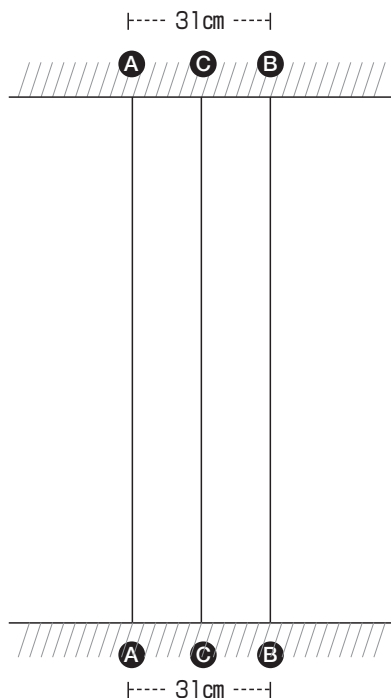
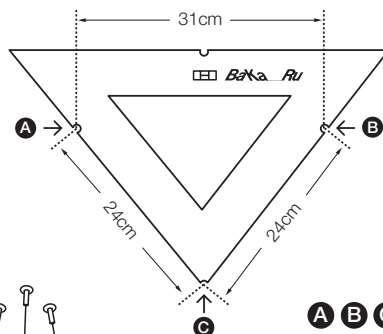
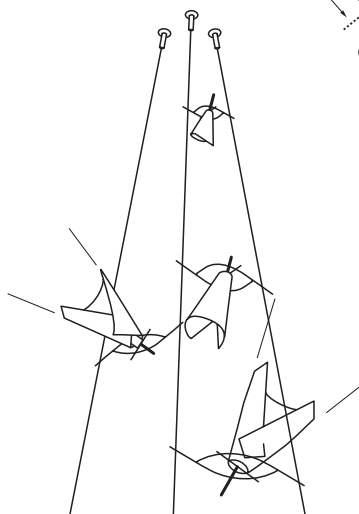
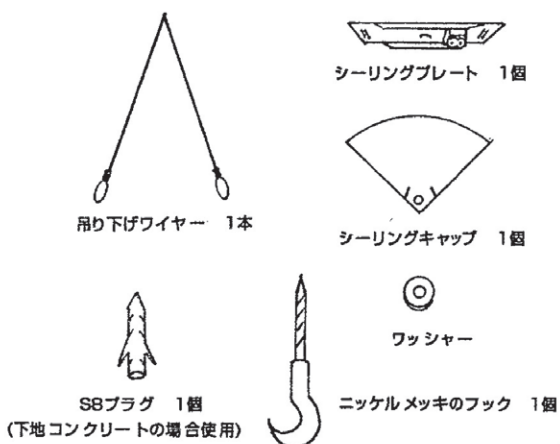
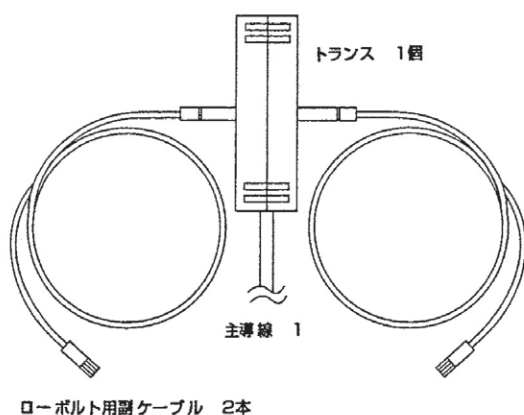
(1)の壁付けを180°回転して取付けるケースです。
スミ出しスケールで天井と床に印をつけて固定金具をそれぞれ取り付けて下さい。

31㎝
A C B
A C B
31㎝

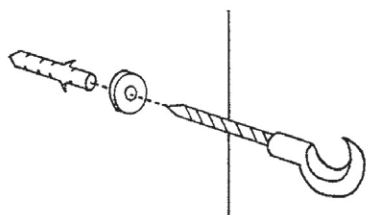
▼スミ出しスケール

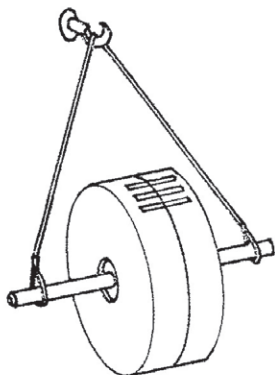
31cm
Baka_Rú
A
B
24cm
24cm
C

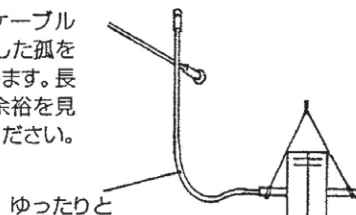
A B C
ワイヤー取り付け位置

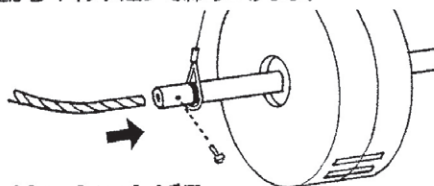
Baka_Rú

2 トランス

壁用トランスの取り付け方　セッコウボードには取り付けできません。

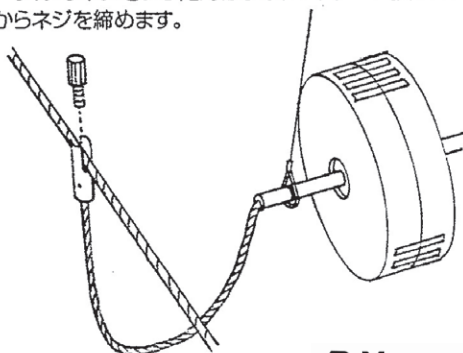
① フックをねじ込む

先にあけておいた穴にプラグググを差し込みます。ワッシャーをはさんだまま、フックをねじ込みます。必ずフックの開いている方を上にして下さい。(壁が木下地の場合プラグは不用です)

② 吊り下げワイヤーを通し、フックに引っ掛ける

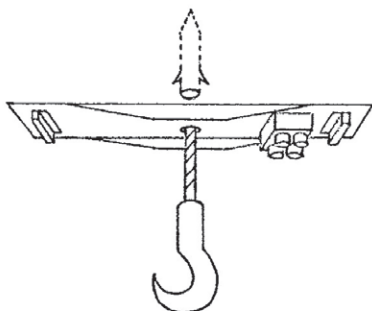
吊り下げワイヤーの赤い輪をトランスのスチール棒に通し、トランスをフックに引っ掛けます。

③ ケーブルの長さを決める

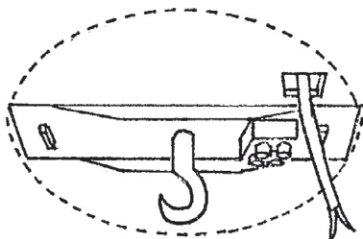
トランスの副ケーブルが、ゆったりとした孤を描ける長さにします。長すぎる場合は余裕を見て、カットしてください。

④ ケーブルを固定する

カットしたケーブルの先端をトランスのスチールに奥まで入れ、上からマイナスピンで締めつけます。

⑤ ワイヤーにつなげる

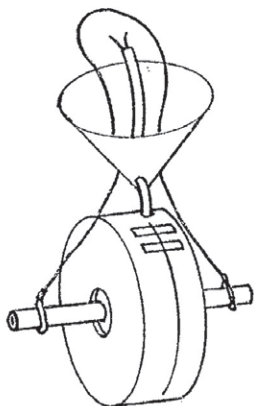
ケーブルのネジをいったんはずし、ワイヤーを挟んでから、上からネジを締めます。

天井用トランスの取り付け方 セッコウボードには取り付けできません。

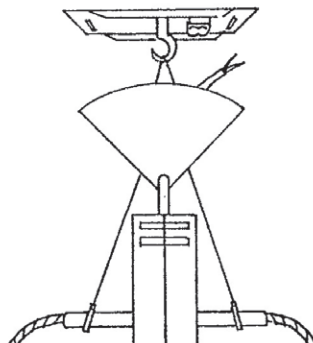
① フックをねじ込む

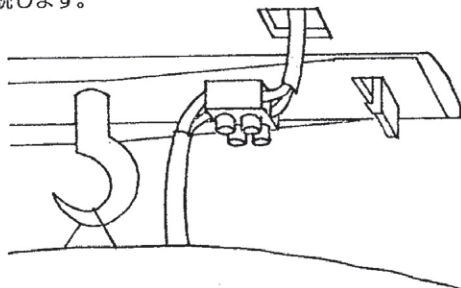
2本のワイヤーの中間にプラグ用の穴を開けます。プラグを差し込み、シーリングプレートを挟んだまま、フックをねじ込みます。（天井材が木下地の場合プラグは不用です）

② コード用の穴を開ける。

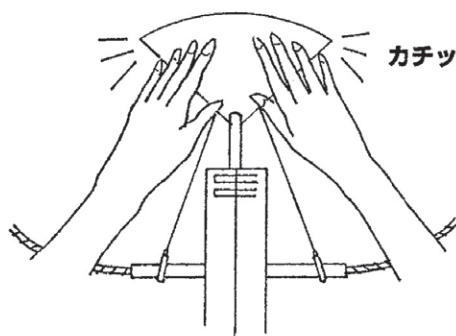
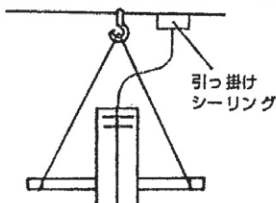
フックの穴を中心にした直径15cm以内に天井の電気コードを引き出す穴を開け、コードの先を出しておきます。

③ ワイヤーをキャップに通し、主ケーブルを穴に通す

吊り下げワイヤーの赤い輪をトランスの軸の溝に掛け、シーリングキャップの先にある切り込みに通します。
トランスの上部にある主ケーブルをシーリングキャップの穴に通します

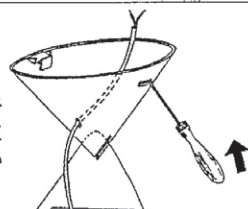
シーリングキャップを使う場合

④ ワイヤーをフックに掛ける

通しておいた吊り下げワイヤーをフックに引っ掛けます

⑤ 天井のコードとトランスのケーブルをつなげる

天井からのコード、とトランスのケーブルをターミナルで接続します。

⑥ プレートとキャップをかみ合わせる

シーリングキャップのツメとシーリングプレートのツメを合わせ片方ずつ"カチッ"となる様にかみ合わせます

シーリングキャップを使わない場合

シーリングキャップの外し方

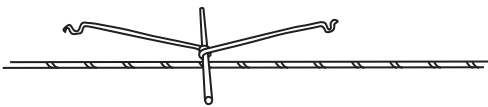
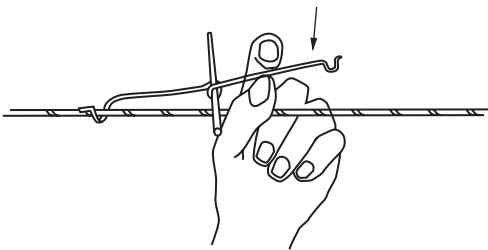
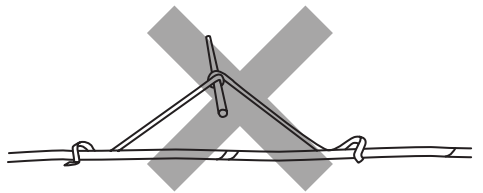
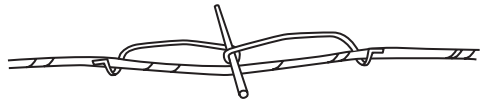
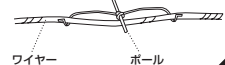
ドライバーをシーリングキャップの2つの切り込みにそれぞれに差し込み、横から静かに押すと外れます

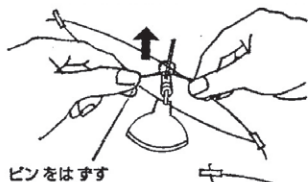
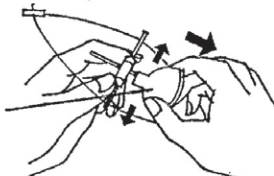
BaKa Ru

3 ライティングエレメント

取り付ける前に

●電源は切っておく
●ハロゲンランプは素手で触らない
●金属物(はさみ、工具等)でプラスとマイナスの両極を同時に触れない

器具の取付方法

①器具をワイヤーの上に乗せます。

②スプリングは下から引っ掛けます。

③ポールがワイヤーにしっかりあたるように
固定してください。

※この取付方は危険です。(点灯不良や落下のおそれあり)

ハロゲンランプの交換方法

ハロゲンランプ固定用スプリングホルダーを外し、ソケットの端の部分を持ってハロゲンランプを取り外し新しいハロゲンランプに交換します。その際ハロゲンランプをしっかりと手で押さえ、軽く左右に動かしながら無理なくソケットにハロゲンランプの2つの芯を入れるようにして下さい。ハロゲンランプを触る時には内側のコーティングされている部分に触れないように注意して下さい。交換後、再びスプリングホルダーでハロゲンランプを固定します。スプリングホルダーはハロゲンランプの縁を押さえるように取り付けて下さい。

故障かな？と思ったら

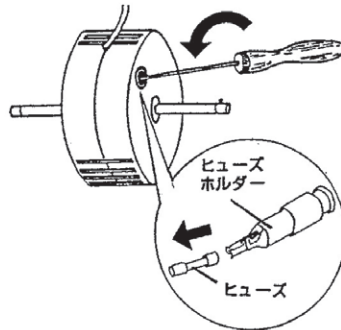
システムのスイッチを入れても点灯しない時には、次の点をチェックして下さい。

チェック項目		対処
トランスのヒューズは飛んでいないか	➡	ヒューズが切れた場合、新しいものに交換して下さい。(インラッシュタイプの4A) ※ただし、トランスは過熱したり、過負荷になった場合、自動的にスイッチが切れる「過熱保護装置」が組み込まれています。温度が一定以下に下がると自動的にスイッチがオンになります。
ライティングエレメントのW合計が200W以下か	➡	定格容量200Wを越えている場合ヒューズが飛びます。越えている時は200Wまで下げて下さい。
ローボルトケーブルが正しく接続されているか	➡	トランス横軸のネジの締め方、ケーブルクリップの固定
ライティングエレメントが正しく取り付けられているか	➡	本説明書「3 ライティングエレメント」の項と照らし合せ、確認して下さい。
全てのハロゲンランプがソケットにきちんと収まっているか	➡	収まっていない時はきちんと収め直して下さい。
機器に接触不良が起こっていないか	➡	接触不良が起こった部品を交換しなければなりません。どこの部分か確認して下さい。

ヒューズが切れる原因

● 定格容量が200Wを越えている場合…
● 指定以外の調光器を使用した場合トランスにラッシュ電流がながれヒューズの飛ぶ原因になります。
● 調光器を使用する場合、マッチングの問題がありますので必ず輸入元にご相談ください。

ヒューズの交換の仕方

マイナスドライバーで左に回すとヒューズホルダーが外れます。

お手入れとメンテナンス

トランスとシーリングキャップ
水か中性洗剤で湿らせた布で拭いて下さい。
クレンザーは絶対に使用しないで下さい。

ワイヤー及びライティングエレメントのワイヤー
軽く水で湿らせた布で定期的に埃や油汚れなどを取り払います。汚れたワイヤーは電流の流れをそこなうことがあります。

〈注〉お手入れは、電流を切ってから、行って下さい。電球には触れぬよう注意して下さい。

<お願い>
● ライティングエレメントは指定トランス、ワイヤー等と使用することにより技術的安全性が保証されます。
● エレメントの加工、指定外トランス、ワイヤー等の使用、または不適切な取り付けによって生じた故障、事故に関しては弊社は責任を負いません。
● エレメント加工をご希望の際には必ず事前にお問い合わせください。

BaKaRú